

「瀬戸内の恵みと岡山の水産業」

瀬戸内市立美和小学校で水産研究所職員が出前授業

瀬戸内市立美和小学校で10月30日、水産研究所職員による出前授業があり、5年生の児童が岡山の海の特徴や豊富な魚介類、それらをとる漁法や養殖業など、岡山の水産業と豊かな海づくりについて学んだ。

授業では、ふ化したばかりのアユを実際にみたり、ワタリガニが成長とともに姿・形を変えること、マガキの幼生が海中を泳ぎながら定着場所をさがしていることを知り、児童から驚きの声があがった。また、海の汚れの原因は、岡山で養殖がはじまったのはいつ、豊かな海にするには等、様々な質問がでた。

海の中では色々な生き物がかわりあって生きている。美しい瀬戸内海とそこに暮らす生きものを守るため、できることを児童らと一緒に考える時間となった。

(開発利用室：萱野)

